

類從符宣抄 *Ruijufusensho* Collection of Royal Orders, Categorized 11th c.

太政官符 長曆二年八月廿五日 Chōryaku 2 1038 08/25

齋月禁忌¹ノ事

太政官符ス。左右京職²并セテ五畿内³諸国司^し。

来^{きたる}九月ノ内ニ燈ヲ北辰⁴ニ奉ルコトヲ禁ズベキ事。

右、神祇官ノ解ヲ得るニイハク、「齋王九月十一日ニ、伊勢太神宮ニ参入スベシ。今、前例ニ依リテ、禁ズル所、件ノ如シ」トイヘレバ、諸国承知シ、件ニ依リテ、之ヲ行ヘ。符到ラバ、奉行セヨ。

^{たかはしのふみとし}
[高橋文俊]

左少弁正五位下

^{うだいし}
右大史

長曆二年八月廿五日

現代語訳

齋月禁忌ノ事

太政官が、左右京職と五畿内諸国に官符を下す。

来たる九月中に北辰に御燈^{みとう}を捧げる行事を禁じる事について。

右の件について：神祇官解を受取ったところ、次のように要求してきた。「齋王⁵は、九月十一日に伊勢太神宮にお入りになることになっている。今、先例にならない、それ[御燈を捧げる事を禁じる]。」という事である。諸国はこの事を承っ

¹ 齋宮が伊勢へ下向する時に行なう群行（ぐんこう）という儀式のある九月一日から三〇日までをいう。

² 律令制で、京都の司法・警察・民政などを掌った役所。左京職・右京職に分かれていた。みさとづかさ。

³ 律令国家が定めた行政区域。山背（山城）・大和・河内・摂津の四箇国をいい、四畿内と呼ばれた。後、河内から和泉が分立し五畿内となった。

⁴ 御燈。三月三日、九月三日に北辰（北極星）を祭る行事。

⁵ 良子内親王。後朱雀天皇と禎子内親王の第一皇女。長元九年（1034）に齋宮に卜定された。

てよく理解し、それ（事書き）の指示通り、[間違いのないように]これ（御燈禁止）を実施せよ。官符を受取ったら、[上記の内容を]奉行せよ。

左少弁正五位下

[高橋文俊]
右大史

長暦二年八月廿五日

English Translation

○Regarding prohibitions during the month when the Ise Priestess Enters the Ise Shrine

The Council of State issues a directive to the Left and Right Capital Agencies, and all the governors of the five inner provinces.

Offering of lanterns to the North Star in the coming 9th month shall be prohibited.

The request received from the Council of Shrine Affairs states the following: “On the 11th day of the 9th month, the Ise Priestess shall enter the Ise Shrine. Now, following precedent, prohibitions should be observed as noted.” The provinces shall comply and let it be enforced. When the order arrives, let it be received and carried out.

(Taira no Sadachika)
Junior Left Controller Senior Fifth Rank Lower.

(Takahashi no Fumitoshi)
Senior Right Secretary

2nd year of Chôryaku (1038), 8th month, 25th day

RJFS

[冬嗣] [天智] [光仁] [高野新笠⁶] [桓武] [乙牟漏⁷] [旅子⁸] [平城]

右、大臣宣ス。勅ヲ奉^{うけたまは}ルニ、山階^{やましな}、後田原^{のちのたはら}、大枝^{おほえ}、柏原^{かしはばら}、長岡^{ながおか}、後大枝^{のちのおほえ}、
楊梅^{ようばい}、

[高志内親王⁹]

⁶高野新笠^{たかののあそみにいがさ}は光仁天皇夫人で、桓武天皇や早良親王の母。は百済の武寧王の後裔と伝えられる和乙継，母は土師真妹と言われる。789年に没するが、790年に皇太后を、806年には太皇太后を追贈された。

⁷藤原良継女、乙牟漏^{おとむろ}。平成天皇、嵯峨天皇、高志内親王の母。皇太后。

⁸藤原百川女、旅子。淳和天皇母。皇太后。

いわつくり 石手、等ノ山陵^{のぎきのつかい}献荷前使、参議¹⁰以上ヲ差^{つかは}スベシ。若シクハ、非参議ハ、三位以上ヲ用ヒヨ。立テテ、恒例トセヨ。

天長元年十二月十六日

大外記宮原宿祢村繼^{すくね}奉^{ほう}ズ

現代語訳

[冬嗣]

右大臣が宣す。「勅を^{うけたまは}奉り、以下の様な命を頂いた。山階、後田原、大枝、柏原、長岡、後大枝、楊梅、石手、等山陵に^{のぎきのつかい}献荷前使¹¹は、参議以上を遣せ。非参議の場合は三位以上を任命せよ。これを恒例とせよ。」という事である。

天長元年十二年十六日

大外記宮原宿祢村繼^{すくね}奉る。

English Translation

The Minister of the Right (Fujiwara no Fuyutsugu) declares, “I have received a royal order: ‘Tribute envoys to the royal tombs (*nozaki no tsukai*) of Yamashina, Go-Tawara, Ôe, Kashiwabara, Nagaoka, Go-Ôe, Yôbai, Ishite, and others must hold the post of advisor on the Council of State or [another] higher [post]. In the case of one who is not-yet-advisor (*hisangi*), those of the third rank or higher shall be utilized. Establish this as an eternal precedent.”

1st year of Tenchô (824), 12th month. 16th day.

Senior Secretary of the Council of State, Miyahara no Sukune Muratsugu, received [this order from the Minister of the Right].

⁹ 桓武天皇の第三皇子、大伴親王（淳和天皇）の後。

¹⁰ 律令制で令外官の一。三位・四位の中から選ばれ、大・中納言に次ぐ重職。平安時代には定員八人となった。

¹¹ 荷前（律令制下で諸国から納められる調庸の初荷）を神事・山陵に供献するため、内裏から送られた勅使とその一行。

式に依リテ、^{のぎきのつかい}荷前使ヲ欠クノ侍従¹²、^{じじじゅう}次侍従¹³、^{さんに}散位等ヲ^{かせき}科責スベキ事

右、中務式ニ云ク、「荷前使ノ次侍従已上、もし^{けつたい}闕怠有ラバ、式部省ニ移シテ、正月七日節ニ預カラズ。兼ネテ、^{げきやく}解却¹⁴ニ従へ。」トイヘリ。又、式部式ニ云ク、「荷前使ヲ闕クノ侍従及び次侍従ハ、中務ノ移ヲ待チテ、正月七日節ニ預カル事無カレ。非侍従ハ、位録¹⁵ヲ奪ヒテ、亦、同節ニ預カルコト無カレ。」トイヘリ。今、右大臣宣^{かうむる}ヲ被ルニイハク、「勅ヲ奉ハルニ、使ヲ闕クノ侍従次侍従、解却ニ従へ。^{あは}并セテ、節会ニ預カルベカラザルノ由、式条ニ既ニ存ス。非侍従ノ事、同ジク彼ノ式ニ在リ。

而ルニ、近年ノ間、^{にんじょうけたい}人情懈怠シ、法式ヲ守ラズ。不参ノ^{もの／ひと}者¹⁶多く、事ノ^{わずらひ}煩尤モ甚シ。侍従等、病ト称スルノ^{ともがら}輩、待賢門ニ参ルノ時、^{かじょう}官掌¹⁶ヲシテ実験ヲ加フ（加ヘシム）。爰ニ、其ノ病、顕著ニ非ザルトイヘドモ、人数已ニ多キニ依リテ、殊ニ^{あや}優容¹⁷ナシテ、必ズシモ解任セズ。但シ、将来ノ為、^{いよいよ}或イハ節禄¹⁸ヲ^{おさ}抑フ。非侍従等節会ニ預カラズトイヘドモ、（未ダ）位禄ヲ奪フニ及バズ。

爰ニ^{いよいよ}積習¹⁹常ト成リ、^{いよいよ}弥、^{けたい}懈怠²⁰ヲ致ス。当日ニ至リ、人数不足ニヨリテ、近辺諸司五位以上ヲ召シ求ムルノ間、^{おの}尅限自ズカラ移リ、物ノ^{いよいよ}煩ヒ^{いよいよ}弥甚シ。国家ノ大事、豈此ノ如ク^べ合ケンヤ。所司ニ仰セテ、重ネテ^{いよいよ}厳制ヲ張ルベシ。

侍従等待賢門ニ参ルノ^{のち}後、使者ヲシテ実験ヲ加ヘシムルノ時、先日ヨリ其ノ^{きこえ}聞有ルノ中、^{うち}彼病、^{にはか}顯然ナラバ、実ニ依リテ、免ズベシ。俄ニ、本病^{にはか}発動ノ由ト称シ、事、^{きよたん}虚誕²¹ニ^{わた}涉ラバ、式ニ依りて、即チ、解却ニ従へ。又、中務ヲシテ、式部ニ移サシメ、七日節ニ預カルベカラズノコト、非侍従ニ至リテ（モ）、其の科ヲ行ナへ。^{すべ}総テ、式条ノ如シ。^{かつ}曾テ、^{かんゆう}寛宥²²セズトイヘリ。中務大録懸犬養良宗ニ召シ仰セオハンヌ。

¹² 律令制の天皇の側近（従五位下）。

¹³ 令制の侍従に准ずる職。「延喜式」によると、定員は百人である（但し、正侍従八人を含む。参議以上の兼帯者はこの数に含まれない）。

¹⁴ 官位を免じる事。

¹⁵ 律令制で、位階に応じて支給された禄物。四位・五位に賜る。

¹⁶ 1) 太政官の下僚で、雑役を務める者。2) 下級の諸役人。

¹⁷ 手厚く受け入れる事。

¹⁸ 節会（せちえ）の日に国が給与する絹布などの物品。延喜式に規定があり、参列者および非参列者中の高齢者など特定の者に、官位その他の条件に従って与えられた。

¹⁹ 悪い習慣。

²⁰ しなくてはいけない事を怠る事。

²¹ 偽り。でたらめ。

²² 寛大な心を持って、相手の罪や過ちをゆるす事。

天曆元年十二月十三日

大外記^{みむねの}三統宿祢公忠奉

従四位上景行²³王

従五位下有融²⁴王

従四位上源朝臣國淵²⁵

源朝臣寛信²⁶

従五位上小野朝臣道風^{みちかぜ}

藤原朝臣尹甫²⁷

已上六人去十六日ノ荷前使ヲ欠ク。仍テ殿上ノ仰セ有リテ、次侍従ノ職ヲ解却ス。

正五位下上毛野朝臣常行^{かみつけの}²⁸ 中宮御消息ニ依リテ免ゼラル。

従五位上藤原朝臣元並²⁹ 身病顯然ニ依リテ免ゼラル。

従五位上源朝臣就³⁰ 兄ノ喪ニ依リテ免ゼラル。

天曆元年十二月廿日

現代語訳

式³¹により、荷前使³²を参加しない侍従、次侍従、散位³³等を処罰すべき事について。

²³ 景行王か。「景」は、「あきら」、「きょう」、「かげ」、「ひろ」とも読める。

²⁴ 有融王、有融王、有融王と、様々な可能性が考えられる。「有」が名前に使われる場合には、「ゆう」、「う」、「あり」、「とも」、「もち」、「なお」、「みち」、「り」、「すみ」、「とう」、「なり」、「ある」の読み方があり、「融」には、「ゆう」、「ゆ」、「とう」、「すけ」、「あきら」、「あき」、「みち」、「よし」がある。

²⁵ 「國淵」は、「こくえん」、「くにぶち」と読めるが、「淵」には他にも「ひろ」、「のぶ」、「すけ」、「すえ」、「なみ」、「ふか」という読み方もある。

²⁶ 「かんしん」、「ひろのぶ」、または「とものぶ」等と読める。

²⁷ 訓読みで読めば、尹甫、尹甫か。音読みならば、尹甫、尹甫とも読めるが、余り聞かない読み方である。「尹」の読み方には、「イン」、「ただ」、「まさ」、「かず」、「のぶ」、「かみ」があり、「甫」には、「ホ」、「フ」、「すけ」、「よし」、「なみ」、「もと」、「のり」、「み」、「かみ」、「まさ」がある。

²⁸ 常行、または常行か。「常」の読み方には、「ジョウ」、「ショウ」、「つね」、「とき」、「とこ」、「ひさ」、「のぶ」、「つら」があり、「行」には、「コウ」、「ギョウ」、「アン」、「ゆき」、「みち」、「つら」、「き」、「のり」、「もち」、「ひら」、「やす」、「たか」、「なみ」、「なめ」がある。

²⁹ 元並、または元並か。「元」の読み方には、「ゲン」、「ガン」、「もと」、「はる」、「ゆき」、「なが」、「よし」、「あき」、「ちか」、「まさ」があり、「並」には、「ヘイ」、「ビョウ」、「なみ」、「みつ」、「み」、「なめ」がある。

³⁰ 「就」は、一文字の名前なので、「つける」か。他の可能性は、「シュウ」、「ジュ」、「なり」、「ゆき」。

³¹ 1) 律令の施行細則。2) ある物事についての定まった形式や方法。法則。

³² 荷前使は、律令制下で荷前の幣物を供献する種々の使者の中で、内裏から近陵・近墓へ、別貢荷前の幣物を供献する勅使とその一行をいう。

右の事書きについて：中務式 [に定められている] には、「中務省は、荷前使の任務を怠った次侍従以上の者がいた場合には、式部省に移（怠った者のリスト）を送って、彼らが正月七日の節会に参加する資格を停め、さらに、[それらの者の] 官職を解任する手続きを行う。」とある。また、式部式には、「式部省は中務省の移を受取って、荷前使の職務を勤めなかった侍従及び次侍従については、正月七日の節会への参加資格を停めよ。また、[荷前使の職務を勤めなかった] 非侍従荷においては、位録を奪い、また、同節会参加の資格を停めよ。」とある。

（今、）右大臣の宣を受け取ったところ、その宣が命ずるには、「勅を受取り、以下の様な命令を頂いた。荷前使を勤めない侍従及び次侍従においては、[それらの者の] 官職を免ぜよ。」とある。それに加え、[それらの者は] 節会への参加資格がないと式条に既に書いてある。非侍従の場合も同様である。

しかし、近年、役人が任務を怠ける事が多く、世の中の法則を守らない[者が多い]。不参の者が多いため、大変事態が混乱している。侍従等が病気だと称して待賢門に参ずる時には、[太政官は] 官掌に取り調べを行わせるが、この場合、病気である事が明白でなくても、（病気と称して辞退する者の）人数が現に多ければ、特別に寛容に取り扱い、必ずしも解任しない³⁴。但し、今後のため、節会の禄を減らす。非侍従等は節会に参加させない処置をとっているが、[非侍従の] 位禄を奪うには及ばない。

こういう状況の中で、悪習が恒常化し、ますます [荷前使の責務を担う侍従や次侍従等が] 怠惰をなすようになる。荷前使出発の当日になって、人数の不足により、近辺諸国 [の役所に命じ、] 五位以上の役人を招集している間に、いつの間にか定刻を過ぎ [るような事になれば、事態がますます混乱し、] 不都合な事はこの上ない。国家の大事、どうしてこの様な状態でいいはずがあるのか（いや、これではいけない）。所司に命じて、もっと厳しい制度を敷いていかななくてはならない。

侍従等が待賢門に参じた後（ならば）、[太政官の] 使者を遣わして [事情を] 取り調べさせよ。先日より、病気だという事を聞いている（病気だと報告している）者の中で、明らかに病んでいる事が見られれば、取り調べた上で [荷前使としての責務を] 免除するべきである。[しかし、] 元来患っていた病が再発したと称してもその事が偽りであることが分かれば、式（規則）に従って、官職を剥奪せよ。また、中務省は、式部省に移を送り、[偽りを申した侍従・次侍従は] 七日節会に参加する資格を停めるという処罰を科す。非侍従に至っても、

³³ 位階はあるが、官職がない。ここでは、非侍従が本文に出てくるので、その事を指している。

³⁴ 全員を処罰する事は困難なので、大目に見るという事。

処罰を科す事は、全て式条と同様に行え。全て、罪や過ちは寛大に許してはならないということである。中務大録懸犬養良宗に召し仰せた。

従四位上景行王

従五位下有融王

従四位上源朝臣國淵

源朝臣寛信

従五位上小野朝臣道風

藤原朝臣尹甫

以上の六人は、去る十六日の荷前使を勤めなかった。そのため、殿上人の命が下り、これらの者を次侍従から免職することになった。

正五位下^{かみつけの}上毛野朝臣常行 中宮御消息によって免職を免れる。

従五位上藤原朝臣元並 病が顕然であるため、免職を免れる。

従五位上源朝臣就 兄の喪中につき、免職を免れる。

天曆元年十二月廿日

English Translation

According to regulations, chamberlains and extra chamberlains as well as officials without portfolio who do not participate [in the sending off of the] envoy [bearing] offerings for royal tombs are to be punished

According to regulations of the Ministry of Palace Affairs, chamberlains and extra chamberlains as well as officials without portfolio who miss the [ceremony] sending off the] offerings envoy [to royal tombs] shall send a missive to the Personnel Ministry, and they shall not be able to attend the royal banquet (the Blue Roan Banquet) on the seventh of the first month. In addition they shall be relieved of their posts.

Furthermore the regulations of the Personnel Ministry state: “As for the chamberlains and extra chamberlains, when they are absent from the [sending off of the] offerings envoy [to the royal tombs], await the letter from the Palace Affairs Ministry and they should not be allowed to participate in the 7th day Blue Roan Banquet. As for the extra chamberlains, they should lose their rank and salaries and should not participate in the 7th day Blue Roan Banquet.

Now, it has been declared by the Minister of the Right:

“I have received the royal command. The chamberlains and extra chamberlains missing from the [sending off of the offerings] envoy shall be terminated from their posts.

Furthermore, that they shall not participate in the 7th day Blue Roan Banquet is already a regulation. As for the extra chamberlains, they shall be dealt with according to the same regulations.

Unfortunately, in recent times officials are routinely negligent. They do not obey laws and regulations, and there are many that do not show up. All of this makes for great consternation. When chamberlains and others claim to be sick, and it is time to assemble at the Taiken Gate, the Council of State sends a low ranking official to conduct an inspection. Even though they are clearly not sick, since the number [of those claiming to be sick] is so large, the Council is lenient and has not as yet terminated anyone at all. However, for the future, stop their banquet gifts (*setsuroku*). While those who are not chamberlains do not attend the banquet, their perquisites of rank should not be taken away. But if this is usual, they will ignore their responsibilities even more.

Up until today the number of people reporting for their jobs is not sufficient, and while we are calling on officials of the fifth rank or higher from the adjacent offices, time passes and the situation becomes worse and worse. How can critically important matters of the realm come to this? Let orders be given to the various offices, and let them be enforced more strictly.

And after the chamberlains gather at the Taiken Gate, have the official [from the Council of State] conduct his inspection. Let those who are really ill, and who reported their illness previously, be exempt. As for those who claim suddenly that they are ill but are found to be lying, let them be terminated from their posts according to regulations. Also let the Ministry of Palace Affairs send a letter to the Personnel Ministry stating that such liars shall not participate in the 7th day Blue Roan Banquet. As for the extra chamberlains, enforce the same policy, according to the regulations. There should be no forgiveness.”

The fourth-level manager of the Ministry of Palace Affairs, Agata no Inukai Yoshimune, has been called and given this order.

1st year of Tenryaku (947), 12th month, 13th day.

Senior Secretary of the Council of State, Mimune no Sukune Kintada

Junior Fourth Rank Upper Keikô-ô ³⁵	Junior Fifth Rank Lower Ariyû-ô
Junior Fourth Rank Upper Minamoto no ason, Kokuen	Minamoto no ason Kakushin
Junior Fifth Rank Upper Ono no ason Michikaze	Fujiwara no ason Tadasuke

The six people listed here did not participate in the offerings envoy the following 16th. As a result, **a command from a superior (tenjo no ose)** was issued stating that they would lose their positions as extra chamberlains.

Senior Fifth Rank Lower: Kamitsuke no ason Tsuneyuki

³⁵ Please see Japanese footnote for pronunciation of each name.

According to a missive from the queen consort (Fujiwara no Onshi), he was exempted from [being dismissed from office].

Junior Fifth Rank Upper: Fujiwara no ason Motonami

Because he was obviously ill, he was exempted from [being dismissed from office].

Junior Fifth Rank Upper: Minamoto no ason Tsukeru

Because he was mourning his older brother's death, he was exempted from [being dismissed from office].

1st year of Tenryaku (947), 12th month, 20th day.